

平成 29 年度 第 1 回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議要録

日時：平成 30 年 3 月 29 日（木）13：30～15：00

場所：白石町役場 3 階大会議室

1. 開会【進行：白石創生推進係長】

2. 委嘱状交付（委員を代表して片渕洋次氏が町長から委嘱状の交付を受ける）

3. 町長挨拶

本日はお忙しいところを、「白石町まち・ひと・しごと創生推進会議」にご出席いただきましてありがとうございます。また、この会議の委員をお引き受けいただきましたことに対しましても、併せてお礼を申し上げます。

さて、「まち・ひと・しごと創生」につきましては、平成 26 年 5 月 8 日、日本創生会議が、全国 896 の市区町村を消滅可能性都市として公表し、日本中に衝撃をもたらしたことに端を発しているところでございます。その後政府は、全国の地方自治体に対して、平成 27 年度中に人口減少問題に対する総合戦略を策定するよう義務付けたため、本町におきましても平成 27 年 11 月に「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。策定後は、国からの交付金を活用して農業塾や観光関連施策、及び 6 次産品の販路開拓事業などを実施するとともに、道の駅整備事業をはじめとする様々な事業を町の単独事業として取り組み、総合戦略の中で目標としている人口ビジョンの将来展望達成に向け努力しているところです。

本日は、その総合戦略の取り組み状況や、交付金事業の検証などを皆様をお願いするようしております。どうか、白石町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関しまして、忌憚のないご意見をいただきますようお願いし申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

4. 委員の紹介

資料 1 により委員の所属と名前を読み上げて紹介

5. 町担当職員の紹介

資料 1 により職員を事務局が紹介（一人ひとりの紹介を省略）

6. 白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱及びその役割について（説明：事務

局)

資料2をご覧ください。

本日開催の平成29年度第1回白石町まち・ひと・しごと創生会議は、この「白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱」に基づき開催しております。

第1条に規定しておりますとおり、広く関係者の意見を反映させるために、設置をしております。これからの協議事項において、いろいろなご意見をいただきますようお願いいたします。

第2条は、この推進会議において審議する事項を定めております。本日は、主に事業の推進と検証に関するをお願いすることになります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第3条で、推進会議は、委員20人以内をもって組織することとしております。先ほどの資料1のとおり、12人の委員の方々に委嘱をしております。

第4条は、委員の任期を定めております。3年となっておりますので、本日から平成32年3月31日までを任期として、皆様に委嘱をさせていただいております。また、第2項では、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期を、前任者の残任期間としておりますので、人事異動などにより、委員に変更があった場合の後任の方につきましては、前任者の残任期間をお願いすることになります。

第5条は、先ほども申しましたとおり、この会議の会長は、白石町副町長をもって充てるとしており、第6条で、招集は会長が招集し、その議長となるとしております。

第7条は、会議の庶務について、企画財政課で行うことを定めております。

要綱と役割についての説明は以上です。

※設置要綱と役割について質疑応答なし

7. 協議事項【進行：会長】

(1) 総合戦略について「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(説明：事務局)

「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、まずは、趣旨などを簡単に説明させていただきます。

総合戦略の1ページをご覧ください。平成27年11月に策定しました「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「まち・ひと・しごと創生法第10条」の規定に基づき、白石町人口ビジョンにおける人口の将来展望等を踏まえ、白石町が今後行うべき具体的な施策を策定し、その実行により人口減少問題に取り組んでいくものです。計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間としております。

また、総合戦略の検証や改善などにつきましては、基本目標や具体的な施策に係る重要業績評価指標(KPI)の達成度による、役場内やこの会議による検証、及び議会による審議を受け改善を重ねる仕組み・PDCAサイクルで行ってまいります。

そのほか、緊急的に効果的な施策の追加が必要な場合は、年度途中であっても改訂し、推

進会議や議会に、事後とはなりますが、報告することとしております。

次に 3 ページをご覧ください。

「白石町まち・ひと・しごと総合戦略」では、4 つの基本目標の実現を目指し、その具体的な施策に取り組むことで、白石町人口ビジョンの将来展望の達成に努めます。どういうことかと言いますと、具体的な施策の内容につきましては、あとだつて協議事項 2 の実施に関するスケジュールと一緒に説明させていただきますが、合計特殊出生率(1 人の女性が出産可能とされる 15 才から 49 才までに産む子どもの平均数を表す統計の数値)は、そこには書いておりませんが、平成 25 年時点で 1.58、人口は平成 22 年国調で 25,605 人となっております。それを、具体的な施策の中の「子育てしやすい環境への支援策」などで、まず、合計特殊出生率を、2040 年(平成 52 年)までに 1.8、2060 年(平成 72 年)までに 2.0 に上げ、これに「若年層等転入のための施策」などで人口の減少をゆるやかにして、目標とする人口を 2040 年 18,475 人、2060 年 15,025 人に設定して、その達成を目指しますということです。

総合戦略についての説明は以上です。

※総合戦略について質疑応答なし

(2) 総合戦略実施に関するスケジュール等について(説明:事務局)

総合戦略実施に関するスケジュールについて説明させていただきます。資料 3 白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施に関する現行事務分掌による所属割をご覧ください。最初にこの資料により取り組み状況を簡単に説明させていただいた後、行政放送などの映像で詳細な取り組みを紹介させていただきます。

基本目標①-1 企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保です。現段階では、具体的な取り組みはできていない状況ですが、平成 28 年度に策定した国土利用計画では企業誘致をするゾーンをお示しし、今後の展開を検討しているところです。

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保 (1) 新規農業就業者対策支援、(2) しろいし農業塾、(3) 農業従事者確保対策につきましては、全て着手済みで、その中でも農業塾の 2 期生は現在 2 名、4 月からは 3 名となる予定です。

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援 (1) 白石町創業者支援制度 (2) 儲かる農産物の開発 (3) 6 次産業化の推進 (4) 商工業者などへの支援については、全て着手済みで新しく出店された人への支援や、中山間地域での果樹の試験栽培、加工品づくり講座や、それに取り組む人への支援を実施しております。これにつきましては、後で映像をご覧ください。

4 ふるさとで活躍する人材の育成 (1) “ふるさと学”の推進につきましては、副読本は平成 28 年度に編集は終了し、副読本を使つての学習を現在実施しているところです。(2) 地元定着の促進といたしましては、佐賀女子短期大学との連携事業を推進しております。これについても後で映像をご覧ください。佐賀農業高校とは不定期ではありましたが、

打ち合わせや試作したお菓子のモニタリングなどを行っており、今後、販売やカフェなど連携できるものを一緒に考えさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。また、白石高校には昨年10月に本町で開催した全国過疎問題シンポジウムの分科会に司会をしてもらい生徒さんを派遣していただき、運営にご協力いただいたところです。

基本目標②-1 白石町の魅力発信といたしましては、(1) 道の駅整備事業ですが平成31年3月開店を目指して現在建設を行っているところです。(2) がばいよかこ発信事業ですが、「町勢要覧」は平成29年9月完成をしております。特産物のPRとして毎月第3水曜日に福岡市役所の九州広場で実施しております。これにつきましては後だって映像をご覧ください。町の職員を町のセールス員として今後統一した名刺やネックストラップを使用する取り組みを新年度から行うようにしております。

2 定住促進、移住支援ですが、(2) 空き家・空き地バンク、お試し移住につきましては、平成30年3月にまずは空き家バンクから実施しております。現在、4つの物件を登録し、そのうち1件が成約済みとなっております。

3 地域観光資源の再発見といたしまして、(4) 地域資源活用観光振興事業での計画事業の実施ということで、観光ルートの設定と観光パンフレットの作成などを行っているところです。

基本目標③-1 結婚推進対策の充実として(1) 婚活サポート事業の拡充ということですが、本町の婚活事業は婚活サポーターによる取り組みを中心に展開していくことを基本としております。昨年の11月にはサポーター主催で婚活イベント「第1回白石の地で縁結び」を開催したところです。平成30年度も婚活イベントや相談者に対するスキルアップセミナー、サポーターを対象とした講演会などを計画しているところです。

2 出産支援ですが、(1) 不妊治療制度の拡充といたしましては、引き続き県不妊治療支援事業などの助成を行っていきます。(2) 多子世帯への助成は現在保育料などの負担・軽減等を行っておりますので引き続き行っていくように考えております。

3 子育て支援といたしましては(2) 一時預かり事業等の充実として、ゆめてらす、有明ふたば保育園などで実施しております。また、あかり保育園では、休日保育も実施しております。(4) 子育てに関するワンストップ相談体制の整備ですが、現在は実質的に保健福祉課で行っております。更に利用しやすいように行政経営プランの中でも検討しているところです。(5) 公園施設の充実につきましては、まずは老朽遊具等の撤去を実施しております。(6) 切れ目のない子育て支援の実施につきましては、小6・中3のみの給食費の無償化、小中学生の医療費助成現物給付は全て実施済みですので、今後も継続する予定で考えております。

4 教育環境の充実といたしましては、(1) コミュニティ・スクールの導入につきましては、町内11の小中学校全て導入済みでございます。

基本目標④-1 町民協働によるまちづくりといたしまして(1) 地域づくり協議会の設立支援ということで、平成29年度は役場内での検討や周辺自治体へ研修を実施しております。

平成 30 年度からは協働による地域づくり検討委員会を設置し、本格的に取り組んでいくこととしています。

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくりですが (1) 自主防災組織の組織化推進につきましては現在取り組みを行っているところで、後だって映像で説明します。

3 誰もが活躍できるまちづくりの (1) 生涯現役としての活躍推進といたしましては、生涯学習講座を春と秋に実施しているところです。(2) 女性活躍推進ですが、このスケジュールにあげている取り組みは行えていませんが、本町の平成 29 年 4 月 1 日における審議会・委員会等における女性の参画状況は 30.7%となっており、目標の 30%はクリアしているところです。

(映像での説明)

基本目標①-3- (1)

みらいネットの会、さくらむすびの共同主催で男女共同参画を考えるイベント「わたしらしく」が昨年 6 月に福富ゆうあい館で開催されました。これは、男女共同参画週間にあわせて開催されまして、「女性活躍推進」の一面もありますが、主たる目的はマルシェ（物品を販売する場所・市場）を開催して起業をしたい人へのチャレンジ出店への支援、情報交換、ネットワークづくりを目的に開催されています。前半は、映画を上映されて子育て世代を中心に約 150 名、後半はマルシェに 200 名を超えるお客さんが来場されています。マルシェは 50 ブースの出店があり、町としては会場使用料やチラシ作成費などをお手伝いしました。平成 30 年度についても同様に開催の予定で、マルシェについては道の駅に出品される方達が一定数集まれば特別コーナーの設置などを検討中とのことです。

基本目標①-3- (2)

これは白岩地区果樹試験組合の試験栽培の様態です。町内に不足している果樹を新たな農産物とすることを目標に平成 28 年から実施しています。レモンやブルーベリーなど様々な果物が特産物となるよう頑張ってください。

基本目標①-3- (3)

これは「売れる！加工品作り」の様子です。平成 28 年度から実施しております。今年度につきましては、第 1 回～第 8 回まで 41 業者延べ 153 名が参加していただき 11 商品が誕生しております。

これは 6 次産業推進事業費補助金です。農水産物の 6 次産業化に取り組む方を対象として平成 26 年度から実施しています。これまでこの補助金を活用して 50 商品が誕生しており、そのすべてが道の駅で販売される予定です。

これは「よってんしゃい白石！オール白石産食フェス！」の様態です。しろいし菜の花ファームが発起人となって白石町 6 次産業推進協議会主催で行われました。場所は先ほど画面にもありましたように福富直売所特設会場で開催されております。町内 6 次産業者の中から、12 業者プラス佐賀農業高校生も参加してもらいました。

これは有明地域戸ケ里（有明ふたば保育園の南側あたり）にオープンしたシロイロパンです。昨年、空き店舗等を利用して、新規出店をされる人を支援する「白石町地域商業活性化支援事業補助金」を活用してオープンされました。また、このお店は障がい者総合支援法に基づく就労継続支援 B 型の事業所となっています。

これは佐賀女子短大の玉ねぎ収穫体験の様です。佐賀女子短期大学との連携として、4月に田植え体験と5月にこの玉ねぎ収穫を行いました。指導はJA さが白石地区青年部の皆さんで、この日はヘルスケアマネジメントコースの1年生が参加しました。平成30年度もヘルスマネジメントコースと連携を継続して、特産品を主原料とした料理レシピの考案や、加工品作りを授業で取り組んでいただく予定です。

ここから資料は3ページになります。道の駅整備事業については平成31年3月オープンに向け進めておりますが、それに伴いまして出荷者協議会の会員も募集しています。3月16日・17日・18日の3日間3地域でそれぞれ説明会を開催し、205名の参加がありました。

次に、福岡市役所の九州広場で開催している「水曜日」の様です。資料でも説明しましたとおり毎月第3水曜日に町の特産品を県外へPRするため、職員を中心として実施しています。平成28年度から開催しているため固定客も多く、特に冬場のレンコンなどは大人気となっています。

資料4ページです。昨年11月に稲佐神社で開催した婚活イベント「白石の地で縁結び」の内容です。婚活サポーターの皆さんが相談を受けている人達に出会いの場を提供したいということで企画してくださいました。また、参加者に対して白石町のいいところも情報発信したいということで地元での開催とイベント名に「しろいし」と入れていただきました。

最後に北明地区防災訓練の様です。2月17日に北明小学校で開催されました。北明地区の方や北明小学校の児童など約200名が参加され、避難所の運営訓練、消防団の救助訓練、炊き出し訓練など実際に災害が発生したことを想定した訓練が行われました。この訓練については今年度で全8小学校が終了しましたが、今後も防災や災害対応の意識啓発のために同様の取り組みを行っていく予定です。

総合戦略のスケジュール等に関する説明は以上です。

（質疑等）

委員 ある人が山口県にレンコンなどをPRして売っている。農産物そのものではなく、加工して売る方向も必要で、若い人の仕事も増えると思う。

会長 加工品の講座を設け50品目できた。

事務局 加工品自体は出来ているが加工施設そのものがなかなかできていない。1次産業者（農業者）が作っている。農商奨励として今後力をいれていく必要があると思っている。

委員 白石の商店街が寂しくなっているが道の駅ができたりますます寂しくなるのでは

ないかと心配している。

事務局 道の駅もあるが、商店街の賑わいつくり等、戦略の中にも掲げているが、空き店舗が目立つ。平成 29 年度から地域商業活性化事業として空き店舗を利用した事業を行っている。道の駅だけで終わりではなく町内に足を運んでもらえる施策を考えていかないといけないと思っている。

会 長 道の駅開通に合わせて、道の駅から町内に回ってもらう努力が必要。観光協議会等でパンフレット等の作成をしてもらっている。

委 員 農工商連携とあったが、加工する方は専門家である。売る方も専門家ができればいいと思う。

事務局 生産者が自ら取り組んでいるのが多いが外注もある。町内の商店の人達との連携できるように考えてはいるが、加工品目を増やすことだけに集中しており、うまくできていない。

委 員 パンやとかの連携を考えてみてはどうか。

事務局 商工会会員の中には、レンコンチップは地元業者から買っている方もいる。

委 員 販路について行政では無理な部分もあると思うので専門の方の力が必要ではないか。

事務局 販路拡大について平成 27 年からフードセレクション等へ出て行って補助等行っている。販路拡大の補助金は用意している。

会 長 商談もまとまってきた。

委 員 ヒット商品は聞くが、食べていくまでは。玉葱やレンコンがおいしいことを初めて知った。その辺を広げられればいいと思う。

会 長 銀行さんにもお手伝いいただきたいと思う。

委 員 人口減少問題でいうと、全国に誇れる高校がある。地元で育った高校生を出さない町というか、企業誘致もそうだと思うが、啓発活動。町の魅力を知らないまま大手企業に就職しているのがかわいそう。おいしい玉葱、レンコンを知らずに普通に食べて育てて都会に行く。働く場がないと難しいでしょうが、知恵を絞っていただければと思う。

事務局 地元定着の促進ということで短大や高校と連携している。COC プラス事業というのがあるが、人材の流出対策で全県的に取り組んでいる。地元就職した場合、奨学金の免除とか考えられているが実行されていない。(町内の)高校は町内からの進学率が減っている。町の連携も難しいところもある。町を知ってもらえないかという事。また一旦出ても何時か帰ってきてもらえる町になればという点もこの戦略の一つ。

委 員 高校生は地元志向が強いが、進学できる短大も専門学校も少ないため県外にいかざるを得ない。ただ生徒は地元就職を考えている生徒が多い。大学で学んだことを生かして働く場、地元貢献できる場があればと思う。地元(江北、白石、福富、

有明)の中学校、4校からの進学が少ない。武雄、鹿島から通学している生徒が増えている。JRの駅が近く、通学域が広がっている。地域という事を考える時、白石町から広がっている傾向にある。地域でボランティアをするのも大好きです。みのりちゃん神社も美術部が作成した。

委員 生徒達自身は地元志向ですが、都市部との格差が大きい。給料面でいうと倍ぐらい違うというのもあり都市部に向いている。ただ生徒自身も地元の魅力を感じているのでゆくゆくは戻ってという指導はしている。レンコン、玉葱など農家も頑張っている。農業者はまだ若く、息子が入ってくるまではない。将来帰ってこいという形の生徒さんもいるので頑張ってもらいたい。農家を継ぎたいと考えている生徒は農業大学校に行く。今年の佐大進学はなかったが、県庁も含め公務員として就職し地域に貢献している生徒も増えている。今年も10数名は公務員就職がいた。

委員 追加なんです、高校を卒業し、その後の進路はデータがあるが、それは進学の時点。農業高校でアンケート取った結果では、関東関西に就職をした。親が60歳、70歳になったときに結構帰ってきているという話を聞いた。

会長 若い人に白石に残ってもら。また帰ってきてもらという事を話していただいた。ご意見をふまえ推進をしていきたい。良い話ありがとうございます。

委員 若い世代の農業者はそれなりに皆さん頑張っている。青年部としては、JAの祭ではない祭をやっていこうかという話をしている。JA支所をお借りして、支部、支部でそれぞれが持ち寄った品物で開催できればと思う。

委員 県の教育委員会では地域の事を知って、佐賀を誇りに思う教育をやってくださいということになっている。今年度の本校の取り組みとしては、教員が白石町の歴史を調べ生徒にレクチャーを行ったところ、生徒は感動的だった。本校100周年記念誌を作成中だが、白石高校の歴史を語る中で、白石町の歴史だけでも生徒に配布するなり講演するなりしていきたい。

会長 ありがとうございます。時間もおしております。3項目に入らせていただきます。何かあれば後でお願いします。

(3) 地方創生加速化交付金事業の検証について(説明:事務局)

それでは、資料4をご覧ください。

こちらは、「地方創生加速化交付金事業の検証用シート」になっております。

町が平成28年度に行いました地方創生加速化交付金事業「6次産品販路開拓事業」が「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標(KPI)を達成することに有効であったかどうかを、委員の皆さんに検証していただくものです。

なお、地方創生加速化交付金事業とは、「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた先駆性のある事業の費用に対し、国が交付金を交付する事業です。

それでは、資料に沿って説明させていただきます。

【事業の概要】から順に説明していきます。この事業では、地域資源を活かして6次産業化に取り組む事業者が中心となって金融機関や行政と連携し『白石町6次産業推進協議会』を設置しました。そしてこの協議会では、販路拡大に向けて消費者ニーズ等を継続的に収集し、事業者向けに情報交換会や研修会などを開催いたしました。また、事業者の商談会参加や輸出に向けての支援だけでなく、事業者間同士の連携による商品開発などにも支援を行ってきました。以上がこの事業の概要となっております。

次に【KPI（重要業績評価指標）】の進捗状況です。平成28年度の6次産品開発件数の目標値を14品としており、その実績につきましては、開発件数14品となりました。

続きまして、【総合戦略上の位置づけ】です。「白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の8ページの「6次産業化の推進」です。また、7ページに記載しておりますが、総合戦略の中では平成27年度からの5年目となる平成31年度までに開発件数の目標値を46件としているところです。参考になりますが、平成29年度末現在で開発件数は50件となっております。内訳としましては、平成27年度で20件、平成28年度で14件、平成29年度で26件、合計50件ほどとなっております。どのような商品があるかといいますと、玉葱の葉のお茶、れんこん茶、れんこんの蓮の葉茶、ドライいちご、乾燥野菜、豆腐みそ漬、蓮根かるかん、海苔クッキーなどが挙がっております。

最後ですが、【加速化交付金事業の進捗の分析と今後の展望】についてです。この平成28年度の交付金事業での取り組みは、今現在、平成29年度末において平成31年度末までの目標値をすでに上回っていることから、重要業績評価指標（KPI）を達成することに十分に有効であったものと考えられます。よって、この「6次産品販路開拓事業」につきましては、今後も更なる白石町ブランドの確立・地域産業の活性化に向けて事業を継続し推進していきたいと考えているところです。

（質疑等）

委員 平成30年度学校で行事計画を立てている。6次産品の開発や野菜をつくってくれという事で平成29年度は予算をいただいた。平成30年度も考えてよいか。

事務局 本年同様、予算を計上しお願いしたいと考えている。また、売れる加工品講座についても平成30年度は3年目になるが、今年度同様進めていきたいと思っている。

会長 この検証については記載されているとおりで確認した。何か言い忘れがあればお願いします。

会長 無いようですので協議事項について終わらせていただきます。

8. その他

商工会女性部おもてなし事業の取り組みについて紹介

9. 閉会【会長】

総合戦略の推進ということでいろんな意見をいただきました。

本町も今日出た意見を参考にさせていただいて、ますます推進を進めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。